

日付	学科	学年	番号	名前
/				

## 第1章 5 「グリーンの定理」「ストークスの定理」 第3回

1. 曲線  $y = x$ ,  $y = x^2$  で囲まれた  $xy$  平面上の領域  $D$  の周を  $C$  とする. このとき, 次の線積分を2重積分に直してその値を求めよ.

$$\int_C \{(xy + 1) dx + (x^2 + y^2) dy\}$$

2.  $xy$  平面上において,  $0 \leq x \leq 1$ ,  $y \geq 0$ ,  $y^2 \leq x$  で表される領域  $D$  の境界を  $C$  とする. このとき, 線積分  $\int_C \{(x^2 - 2xy) dx + (x^2 y + 3) dy\}$  の値をグリーンの定理を用いて求めよ.

**例題** 原点  $O$  と2点  $(1, 0, 0)$ ,  $(1, 1, 0)$  を順に結んで  $O$  にもどる三角形の周を  $C$  とする. このとき, ベクトル場  $\mathbf{a} = (x^2 + y, x^2 + 2z, 2y)$  について, 線積分  $\int_C \mathbf{a} \cdot d\mathbf{r}$  の値をストークスの定理を用いて求めよ.

**解**  $C$  で囲まれた領域を  $S$  とし,  $S$  の単位法線ベクトルを  $\mathbf{n}$  とする. ストークスの定理より

$$I = \int_C \mathbf{a} \cdot d\mathbf{r} = \int_S (\nabla \times \mathbf{a}) \cdot \mathbf{n} dS$$

ここで,  $\mathbf{n} = \mathbf{k} = (0, 0, 1)$  だから  $(\nabla \times \mathbf{a}) \cdot \mathbf{n} = (0, 0, 2x - 1) \cdot \mathbf{k} = 2x - 1$

また, 領域  $S$  は  $0 \leq x \leq 1$ ,  $0 \leq y \leq x$  と表されるから

$$I = \int_0^1 \left\{ \int_0^x (2x - 1) dy \right\} dx = \int_0^1 (2x - 1) x dx = \left[ \frac{2}{3} x^3 - \frac{1}{2} x^2 \right]_0^1 = \frac{1}{6}$$

3. 原点  $O$  と2点  $(2, 0, 0)$ ,  $(2, 2, 0)$  を順に結んで  $O$  にもどる三角形の周を  $C$  とする. このとき, ベクトル場  $\mathbf{a} = (x - 4y, 3y + z^2, 4xy)$  について, 線積分  $\int_C \mathbf{a} \cdot d\mathbf{r}$  の値をストークスの定理を用いて求めよ.